

事例 2 社会科見学会

DATA
 場 所：青森県青森市
 実 施 者：青森工事事務所 地域づくり推進室 [TEL(017)734-4521]
 参 加 者：青森市立栄山小学校3年生～6年生 30名
 実 施 日：平成13年1月23日
 学 習 時 間：1～2時間

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景

地域の子供達を対象に、日頃なげなく使っている道路を見つめなおす機会として、現場や各種施設の見学を通じ「道路の役割」「生活と道路の関係」「道路を守る人々」について学習していただくため社会科見学会を実施しました。

内容

現在進行中の道路工事箇所や除雪機械等を見学し、生活と道路の関係について、毎朝定時に配達される新聞の配達状況などの身近な話題を盛り込みながら学習しました。また見学会終了後に、この学習での感想文を作成しました。



除雪機械の大きさにみんなびっくり



新聞づくりの説明を真剣にききます

ポイント

- 普段間近で見ることのない除雪機械や工事現場などを見学し、道路に関する仕事の内容について学習できます。
- 新聞社を見学し、新聞づくりの工程を学びながら、家庭へ届ける上での道路がもつ役割や生活と道路の密接な関係について学習します。
- 自分たちの身近な通学路をととして、道路の管理や除雪の仕組みなどを学んでいます。

成果

身近なところから道路の役割を知ってもらい、理解を深めてもらいました。また「道路の持つ役割」や「生活と道路の密接な関係」について、感想文を作成することで、自分なりに考えをまとめました。

参加者の声

- 「除雪作業を朝早くからしてくれるおかげで、道を安心して歩くことができます。本当にありがとうございました」
(青森市立栄山小学校 4年生)
- 「除雪するには、たくさんの人の労力とお金が掛かっていることが分かった」
(青森市立栄山小学校 6年生)
- 「家にも除雪機があるけど、除雪車は大きくて早い。これなら大変な除雪が簡単に終わりそうだと思います」
(青森市立栄山小学校 5年生)



学んだことは社会新聞にまとめました



もう一度見学してもっと詳しくまとめたいという声も

次のステップに向けて

- 生活の基盤となる道路。その道路の持つ役割や補修整備の意味、雪の多い地域での除雪作業など、地域と一体となる部分を積極的に見学することで、地域と道路とのかかわりや社会の仕組みを学習することも考えられます。